

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援元気キッズPSC STATION3		
○保護者評価実施期間	令和8年2月9日		～ 令和8年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 44	(回答者数)	36
○従業者評価実施期間	令和8年2月9日		～ 令和8年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	それぞれのお子さんに合わせた、また保護者様のニーズを取り入れた個別支援計画を作成し、計画に沿った支援内容を提供すること	計画更新時に、幼稚園や保育園・ご家庭での様子の聞き取りを行い、困り感の軽減に繋がる目標設定を意識して行っている。	保育所等訪問支援などで知り得た情報や、進級／就学後を想定した、目標・課題の検討を行っていく。
2	お子さんの様子を保護者様と伝え合いながら、日々の支援・情報共有を行うこと	通所前後の送り迎えの際に、事業所での様子、ご家庭での様子の共有を行っている。また、学期に1回の頻度で参観日を設定し、実際に事業所での様子を見ていただく機会を設けている。	保護者と顔を合わせた際、丁寧にフィードバックすることを引き続き心掛けていく。また、参観WEEKの年3回以上の開催を継続する。
3	幼稚園、保育園生活に活かせるような経験を提供すること	小集団／ペア活動を指導時間の中で使い分けることで、集団に適應すること、個の力を伸ばすこと、どちらにもアプローチできるようにしている。	幼稚園／保育園の時期的な活動も念頭に置き、プログラムに組み込んでいく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会の提供	幼稚園・保育園に通っているお子さんを対象にお預かりしているため、他のこどもと活動する機会はすでに担保されており、事業所での提供の必要性をあまり感じていない。	保護者のニーズがあるかを確認し、必要に応じて併設園との交流の機会を設けるなどする。
2	父母の会の活動支援、保護者会の開催、きょうだい同士の交流機会を設けること、ペアレント・トレーニングの実施などによる家族支援	上記同様、通所先の幼稚園・保育園にてその機会が担保されている場合が多いと考えている。	就学に向けた説明会や保護者会の開催などを、保護者のニーズに合わせて検討していく。
3	非常災害に備えた、避難・救出訓練の周知	毎月発行しているおたよりに、実施した訓練の様子などを掲載しているが、保護者の目に止まっていないと考えられる。	おたよりに含むのではなく別途配信を行ったり、訓練の様子を写真とともに掲示するなど、周知の仕方を工夫していく。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	児童発達支援元気キッズPSC STATION3
------	-------------------------

公表日 令和8年3月30日

利用児童数 47

回収数 36

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	32	2	0	2	活動内容によっては十分だろうが、運動系のことを行う場合、人数が多いと少々狭いと感じるかもしれない。広ければ広いでマイナスな面もあると思うので、難しいところだとは思いますが。	目一杯身体を動かすこともできるよう、一度に動くお子さんの人数を調整するなど工夫していきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	31	1	0	4	業界的に人手は決して多くはないと感じていますが、そのなかでも本人も親も不安にならぬよう配置して下さっていることも感じています。PSCではない様々な支援施設のお話を聞きますが、このような対応をして下さる支援施設も、決して多くはないようです。2年以上お世話になり、たくさんご相談に乗っていただいたこと、そもそもとても恵まれていたことを体感できたことすらも、感謝しております。	お子さん2名に対して職員1名を最低人数として配置しており、個別対応が必要なお子さんには1対1での対応を、就学を見据えたお子さんには3対1に意図的に減らすなど、お子さんに合わせた配置を引き続き行っていきます。暖かいお言葉をありがとうございます！！
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	30	1	0	5		必要に応じ見通し表やイラストなどの視覚提示を行ったり、反対に目に入る情報を減らすなどの配慮を行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	34	1	0	1	先生方は十分に理解してくださっていて、アドバイスもたくさんいただきました。ただそこには先生方のご理解だけではなく、親との連携・連絡があつてこそだと、振り返ってみて心から思います。「なんでも相談できる」親と先生方との関係として基本であり、でも課題であり、じつはとても難しいことでもあると思います。わが家とその信頼感を得られたのは、やはり子ども本人の笑顔や楽しいという反応と、「話す」ということで、先生方と視線を合わせることができたことが大きいと感じています。	嬉しいお言葉をありがとうございます！ 引き続き、保育士、作業療法士など、様々な専門職による支援を提供できるように努めてまいります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	35	0	0	1		HPにて公開している支援プログラムの周知に努めます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	35	0	0	1		引き続き、お子様、保護者様のご要望と、アセスメントの結果を元に計画作成を行ってまいります。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	34	0	0	2		個別支援計画への記載、記載内容のご説明を、改めて行ってまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	33	2	0	1		活動プログラムは、支援計画の内容に沿って立案しております。支援内容の共有、ご説明を丁寧に行なってまいります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	1	0	3		小集団活動の内容は週ごとに、ペア活動の内容は日ごとに立案しております。今後も多様な活動を提供できるよう努めてまいります。
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	23	3	4	6		幼稚園、保育園に通っているお子様を対象にお預かりしているため、必要に応じて交流の機会を検討してまいります。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	3		契約時のご説明を、より丁寧に行なってまいります。	

保護者への説明等	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	34	1	0	1		更新の際のご説明を、より丁寧に行ってまいります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	23	4	0	9		県や市の研修のご案内をしておりますが、事業所での開催も検討してまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	35	0	0	1		送り迎えの際にお声がけさせていただいています。共通理解を図れるよう、より丁寧にお話させていただきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	31	3	0	2		指導前後のフィードバックの時間を大切にしてまいります。また面談のご要望の把握に努めます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	35	0	0	1		話しやすいと思っていただけるよう、努めてまいります。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	8	3	12	保護者会やきょうだい向けのイベントという設定を、具体的に感じられる会などはなかったかなと思いますが、お迎えのときなどにきょうだいへの対応、きょうだいの性質などに関する話をさせていただき、わが家にとってはかなり助かりました。保護者との交流は、お迎えのときにそれとなくお話できました。	ご要望を把握し、必要に応じて開催を検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	33	1	0	2		ご要望には、なるべく早く対応できるように、引き続き努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	3	0	1	アプリなどで連絡事項が送れるようになるとありがたい。	情報管理体制を含め、検討してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	2	0	4		毎月のおたよりの発行、Instagramへの投稿を引き続き行い、その周知に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	36	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	31	1	0	4		作成したマニュアル、実施した訓練についての周知に努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	0	0	7		定期的に行っている避難訓練の内容の、周知に努めます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1	0	2		作成している安全計画、事業所点検結果などの周知に努めます。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	31	1	0	4		事故、怪我についてはすぐにご報告させていただいておりますが、より迅速・丁寧な説明を心がけます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	34	2	0	0		お子様との信頼関係の構築、安心できる教室作りに努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	4	0	2		より多くのお子様にも、楽しい！楽しみ！と思ってもらえるよう、職員一同、頑張ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	36	0	0	0		ありがとうございます！！来年度もご満足いただけるよう、より良い教室作りに励んでまいります。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	児童発達支援元気キッズPSC STATION3		公表日 令和8年3月30日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・遊びの内容などによって、その時々環境設定を考 えて活動を行っている	・ルールのある遊びをする際に、もう少し広 さがほしいと感じている職員がいる
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・お子さん2人に対して、職員1名を最低人数として配 置している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	0	・活動を行う部屋は刺激の少ない環境を意識し、ロー ルカーテンやパーテーションを利用している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・お子さんによって活動の流れや、個別の配慮がある 環境に変えやすい	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・年に一度、評価アンケートをお願いしている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・月に1回以上ミーティングの機会を設けている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・アセスメント表を使用している ・作る人の主観ではなく、職員同士で声を掛け合う (相談する)環境がある	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・計画作成前に職員全員でミーティングを行い、アセ スメントに基づいて、皆でお子さんの現状を確認して 作成している ・直したほうが良い所を丁寧に伝えてくれるので作成 者自身が理解した上で作成することができる	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・作成された支援計画に皆で目を通し、共有する機会 がある ・指導のプログラムは個別支援計画に沿ってたててい る	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・家庭、保育園(幼稚園)でも活用できる事柄を支援 内容に取り入れるようにしている	

な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・週ごとのプログラムを、毎月、複数職員で話し合い、決定・共有している ・事前にプログラムの共有を行い、必要に応じて”こうした方がもっとよくなる点”などの意見を出し合っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・毎月、週ごとに異なるテーマ、内容を決めている ・またその曜日、時間のお子さんの様子に合わせて、ゴールを設定しながら取り組んでいる	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・ペア活動、小集団活動の時間を、通所するお子さんの様子に合わせて変更しながら、1回100分の指導を組み立てている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・指導のリーダーとなる職員が活動内容を補助職員に伝える時間を、毎回設けている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・毎回、指導が終わるごとに、活動の反省、お子さんの様子、保護者とのFB内容などの共有を行い、記録に残している	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・指導ごとに記録を作成し、保護者にも提示している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0		
	25	地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	・保育所等訪問支援事業以外でも、必要に応じて園と情報共有を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	・必要に応じて情報提供書や支援シートを作成、共有している	・連携の現状を把握できていない職員がいる
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。	—	—		
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	—	—		
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	—	—		
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	・お子さんの利用状況や家庭環境によって、連携することがある ・スーパーバイズを受ける機会は定期的にある	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	1	・保育園と併用している園庭や、公園への散歩ができる時は交流がある	・決まったタイミングでの交流があるわけではない
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・毎回の指導の前後に、保護者とのFBの時間を取っている	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・参観日を設けている ・保護者が参加できる研修の情報提供を随時行っている	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・計画作成前にアンケートを実施し、保護者の意向をふまえ、お子さんに合わせて作成できるよう努めている	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・対面や、電話で聞き取りするよう心がけている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	0	・元氣キッズ全体でのイベントで交流する機会はある ・参観日を設け、その際、保護者同士の交流ができる場所を設置している	・きょうだい同士が関わる機会や、父母会は設けられていない
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・毎月おたよりを発行している ・インスタグラムでも日々の活動を周知している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・個人情報の扱いについて毎日確認をしたり、研修もしている	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・必要に応じて、電話連絡、アプリ連絡などを使い分けている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	・元氣フェスを年に1度開催し、子育て相談などを行っている	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・作成したマニュアルは、職員、保護者がすぐに手に取れる場所に掲示している ・様々な想定での訓練を行っている	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・作成した計画は、職員、保護者がすぐに手に取れる場所に掲示している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	・入所の際に、提供していただく書類に記載する欄があり、共有している	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・作成した計画は、職員、保護者がすぐに手に取れる場所に掲示している ・様々な想定での訓練を行っている	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・教室の入口にマニュアルを置き、いつでも閲覧できるようになっている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・都度、ヒヤリハット集に状況などの記載を行っている ・毎月、文書にて共有し、必要に応じてミーティングで対策を図っている	・共有し忘れてしまうことがことがある
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止研修を教室で行い、職員で共有している	

	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・定期的に教室内で研修を行い、検討の機会を作っている	
--	----	--	---	---	----------------------------	--